

JAF と提携しました！



6月26日、市長公室にて日本自動車連盟（JAF）山梨支部と、観光や交通安全などの事業で協力し合う、包括協定を締結しました。

JAFは昨年からの全国と同様の協定を結んでいます。県内での締結は初めてのことです。

今後JAF側には会員向けに発行される広報誌などで市のイベントや観光情報、ドライブコースなどを掲載していただき、市では全国の約1、758万人いる全国のJAF会員の皆さんへのサービス提供を市内企業に協働依頼するなど、連携をしていく予定です。

市内で活躍する「人」・「団体」、市内の「出来事」などにスポットをあて、ご紹介するコーナーです。



伊藤英行さんと藤江達子さんが交通安全功労表彰を受賞！

■これからも都留市の交通安全活動の推進を宜しくお願いします！！



都留市の伊藤英行さん（交通指導員）と藤江達子さん（交通安全母の会会長）が山梨県交通安全推進協議会交通安全功労表彰を受賞されました。

お二人ともに、長年、交通安全思想の普及・啓発に尽力されたことが評価され、横内知事より賞状を授与され、伊藤さんは代表で謝辞を述べました。

谷村第一小学校にて、人権の花運動が行われました！



■人権イメージキャラクターの「人KENまもる君」もきて、子どもたちに大人気でした。



6月28日谷村第一小学校校庭にて、山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会より、人権の花贈呈式がおこなわれました。この事業は児童たちが協力して花を栽培・育成することにより、いたわり、思いやりの気持ちを育み、命の大切さを学ぶでもらうことを目的として実施しています。

贈呈式後は花の種と人権に対するメッセージをつけた風船を飛ばすイベントが行われました。

小さな可愛らしい花・バイカモが咲きました！！



6月中旬にバイカモ（梅花藻）が見ごろを迎えました。

バイカモはキンポウゲ科の水草で、水温15度程度の清流でのみ生息でき、梅に似た小さな花を咲かす植物です。この花は水質汚濁や河川改修などで全国的に数が減っており、山梨県の山梨県レッドデータブックの絶滅危惧種（1B類）に分類されています。

花の見ごろは長く、8月いっぱい頃まで市内の十日市場・夏狩湧水群で見ることができます。

これからもバイカモが毎年見られるように、川をきれいに保っていきましょう！

禾生第二小学校からリニア見学センターに花のプランターが寄贈されました！



■尾県郷土資料館などにも花を寄贈しているとのことで、これらのプランターは全校で花の植え替えをしたものだそうです。

7月5日、禾生第二小学校の児童会から、花のプランターがリニア見学センターに寄贈されました。禾生第二小学校では、児童会チーム『世界力ニカニ・大作戦』を成功させるためのスローガンの一つ、『はなやかニ・学校ピカピカ大作戦』を受け、学校だけでなく地域もきれいにする取り組みを行っています。

禾生第二小学校の皆さん、きれいなお花をありがとうございました！

横浜市旭区若葉台連合自治会の皆さんと交流しました！！



6月22日（土）、23日（日）の両日、横浜国立大学との包括連携協定による交流事業の一環として、横浜市旭区若葉台連合自治会の皆さんによる「会長研修会in 都留市」が「芭蕉 月待の湯」で開催されました。

1日目の研修会では、里地・里山・里水の保全と活用に関して意見交換を行い、条例の制定を目指している本市にとって、里水でつながる地域の方々からのご意見を聴くことも良い機会となりました。

また、2日目には、家中川小水力発電所の見学や平成の名水百選「十日市場・夏狩湧水群」を散策し、「水つながりが「人」つながりとなる有意義な時間となりました。

都留市の人口

H25.7.1 現在
男 15,632人 (-25)
女 16,441人 (+10)
計 32,073人 (-15)
世帯数 12,624世帯(+3)
※()内数字は前月比

8月の納税

市県民税(第2期)
国民健康保険税(第2期)
介護保険料(第2期)
後期高齢者医療保険料(第2期)

都留市民憲章

わたしたち都留市民は

- 健康で明るいまちにいたします。
- 自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
- たのしく働き、活気ある産業のまちに育てまします。
- たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくりまします。